

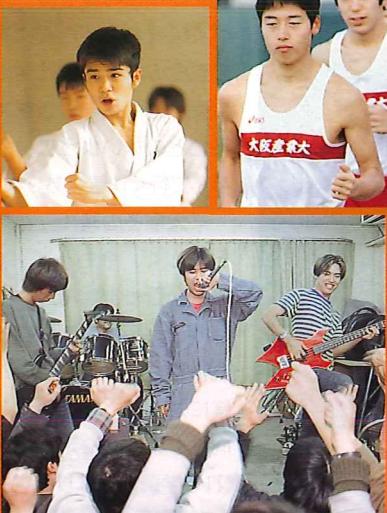
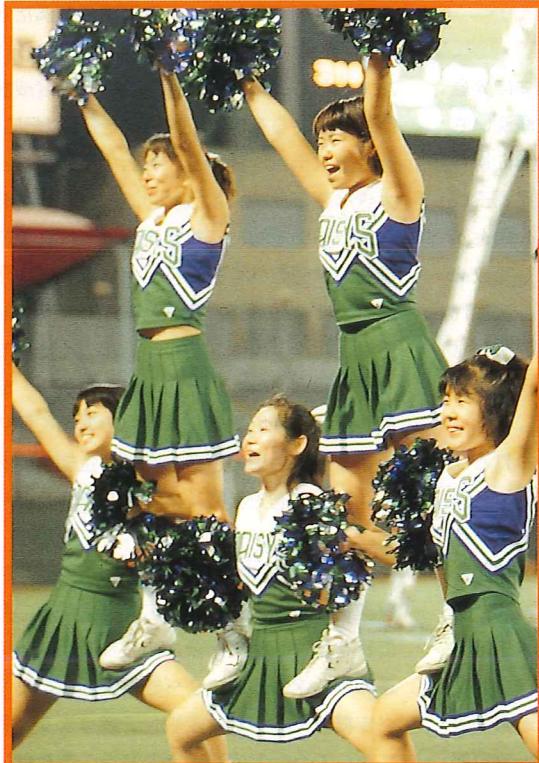
凡太

第55号 大阪産業大学校友会報

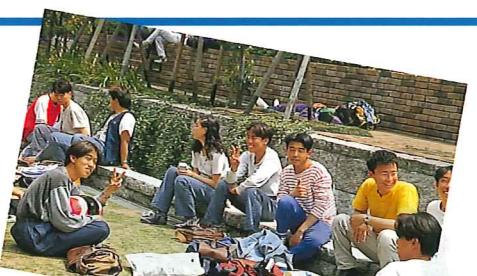
OSAKA
SANGYO
UNIVERSITY

学園創立70周年 70

学園創立70周年



「大阪産業大学」 学園創立70周年を迎えて



MESSAGE

**大阪産業大学校友会の皆様、
平素は何かと学園の充実と発展のために
御尽力頂きまして有り難うございます**



学校法人大阪産業大学・理事長
ふるたに しめじ
古谷 七五三次

学園創立70周年を迎えたこの年に、この意義深い校友会「凡友」が記念発刊されますこと、誠におめでたく心からお祝い申し上げます。

現在、校友会は発足されて28年、会員数約4万7千名、31の支部を各都道府県に擁されており、年々組織も大きくなっています。会員諸氏におかれまして、さぞかし御慶びの事と存じます。これも校友会会員の皆様の個々の御尽力の結果であり、旺盛な連帯意識の賜物といえるのではないでしょうか。

顧みますに、学園は昭和3年（1928年）に大阪鉄道学校が創立されて以来、昭和・平成の激動の時代を、幾多の苦難を乗り越えて、今や二つの大学院研究科・大学・短期大学部・歯科衛生士学院専門学校・二つの高等学校・中学校を擁

する幅広い総合的な教育体に発展して参りました。誠に感慨深いものがあります。今学園運営に携わるものとして、創立者瀬島源三郎先生が今日の礎を確たるものとすべく流された汗と涙に対して改めて敬愛の念を抱くと共に、次世代に受け継ぐべき理念を詠び付かせることのないように、皆様と共に歩んで行く決意であります。

“大学冬の時代”と言われてから久しく、今もって「春尚遠し」の感が否めませんが、確固たる理念の下、今後の厳しい社会情勢を凝視し、社会の変化やニーズに適確に対応し、幅広い人間作りの方針を具体的に示していくかねば今後に生き残れる学園にはなり得ないと考えます。“魅力ある学園作り”をメインテーマに掲げ、大学院・大学・短大・専門学校・高等学校・中学校を有する多元的な教育組織として、経営的な視点をも含めた改革を推進していくことが、今最も必要とされることといえます。

大学では、現在大学院経営・流通学研究科および経済学部新学科として国際経済学科の設置認可を申請中であり、また平成11年度をもって終了する臨時的定員に対する今後の対応を迫られているなど、大学建設の課題は山積みしております。

短大では、入学定員数の縮小と併せて、本短大の現状に鑑みた特色とメリットを生かしつつ、同時に多様化を図っていくことが必要であり、コース制導入策等、より多様化・個性化を図って参りたいと思います。

各機関いずれにおいても今後暫くは厳しい情勢が続くであります。我が学園のみならず、我が国の教育機関は、これまで我が国

の高度経済成長からくる教育需要を満たすべく、それと歩調を合わせて発展して参りました。しかし、御承知の通り、今や高度成長の時代は終わりを告げ、来るべき21世紀には、社会システム・経済システム、価値観などに大きな変革が訪れようとしております。教育機関においても、これまでのような延長線的な発展は望むべくもなく、大きな困難が予想されます。従って、70周年以降の21世紀における我が学園は、これから新しく出発するというくらいの気概と謙虚さをもって、時代の変化に適確に対応し、社会の要請に即応できるように学園の創造に向けて全知全能を傾け、新たな歴史を築くべく励む所存であります。

これから学園運営を考える場合、卒業生、保護者の方々のみならず広く社会からの要望に耳を傾けていく必要があります。時代の変遷の中、学園の果たすべき役割および備えるべき機能についても変貌して参ります。社会に対して貢献度の高い学園造り、また学生・生徒が入学をより一層切望するような学園造り、卒業生の方々が、本学園を卒業したことをより一層社会に誇れるような学園造りを目指して、学園構成員共々努力を重ねていく所存であります。

既存の価値観が崩壊し、新しい価値観の創出が強く要望されている昨今、人間形成に大きな影響をおよぼす学園の業務は、益々重大であります。学園は、卒業生のため、入学してくる者のためにあるという謙虚な気持ちを忘れることなく、責務を全うして参ります。

学園の更なる発展のために、今後とも皆様方の一層の御指導、御鞭撻をお願いする次第です。

最後に、大阪産業大学校友会の一層の発展と、皆様方の益々の御活躍を祈念致しまして御挨拶と致します。

学園創立70周年、校友会会員の皆様とともに心からお喜び申し上げます



大阪産業大学・学長
あまの こうぞう
天野 光三

創立者瀬島源三郎先生の理念を受け継ぎ、昭和3年の大阪鉄道学校から昭和25年には、短大、昭和40年には大阪産業大学へと大きく発展を続けてきました。その後も順調に、平成元年には、大学院が設立されて着実に発展しつつ、70年の歴史を歩んできました。

そうして今日ここに、70周年という大きな節目を迎めました。

この歴史の中には、堅実・順調な発展期もあれば、世の中の変化の流れに押し流された様々な苦難の日々もありました。まだ手狭だったキャンパスと施設・設備、教員スタッフという、ありし日の短大、大学を巣立った校友会の皆さんは当時のことをよくご存知のことだと思います。ここへ来る事ができましたのは、歴代理事者と教職員のご尽力と、母校を思う卒業生諸先輩のご支援の賜物です。

こうして今では大学・短大・大学院を合わせて1万2千人に近い学生規模を誇る堂々たる大学に成長しました。

ところが、近年、ご存知のように少子化の波が押し寄せ、18歳人口の50%が大学に進学しても、大学の学生定員の方が大きく、希望者は誰でも大学に入れる余裕が出てくる時代がやってきます。それに対応して文部省の指導により、全国の全ての大学が定員の削減を求められることになっています。このことは、経営の面で思い切った経費削減を断行せねばならないことを意味しているのです。

さらに、志願者は少しでも質の高い大学を選びますから、よい新入生を迎えること、他大学との量的・質的な競争に勝つことが生き残りの道であり、それに備えて体質向上にできる限りの努力をせねばなりません。

その方法は、本学を「志願者にとって魅力ある大学」にしていくことであり、それが21世紀に生き残る唯一の道であると考えます。

「魅力ある大学」とは、まず第一に「これから国際化、情報化、高福祉化の時代に対応して必要な学問・知識・技術をわかりやすく学べる大学」です。

第二には、単なる知識と理論だけでなく、実際に社会で役に立つ、すなわち社会・企業が求める人材を育てる大学。専門化と同時に多様化・弾力的思考が求められる21世紀の社会には、これに対応することができる、個性と独創性のある人材が求められます。同時に積極性・協調性・責任感・チャレンジ精神のある、豊かな人間性の養成を重視する事が大切です。

第三として、さまざまな面で有意義な、充実したキャンパスライフをエンジョイできる大学であることも必要です。

大学院は別として、本学の学部では教育者・研究者を作り出すことを目標にするではなく、実地に役立つ専門知識・技術に比重を置いて学べる大学であるべきでしょう。理論に偏ることなく、実学にしっかりと足をつけて、社会の第一線で活躍できる有能な高等実務の専門家を育てることに目標を置きたいと考えます。

このためには、学生のための教育に熱意と能力のある教員が「学生のために何をすべきか」をまず中心命題として考え、カリキュラムや講義テーマ、講義内容、教授法に最善の努力が必要だと考えなければならないでしょう。

教員の熱心さのあまり、一方通行で知識を詰め込むことは、独創性の芽を摘んでしまう恐れもあります。一人一人の学生諸君が必ず持っている、何かの優れた能力を見出し、それを助長する教育が必要ではないでしょうか。

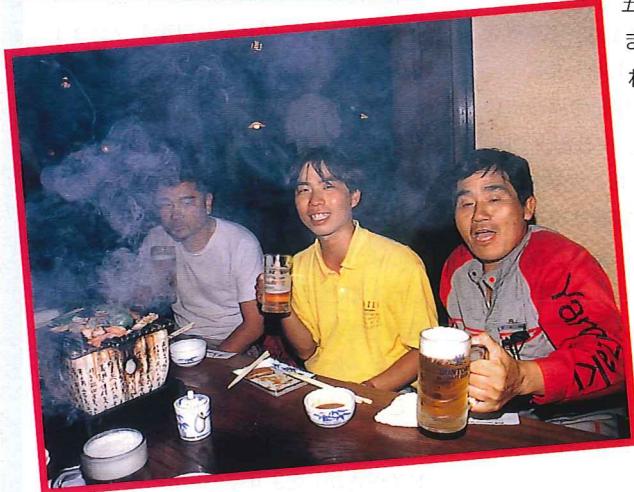
教職員はこれらのことを行なうことを十分自覚して努力していかねばならないと思います。いま、将来計画委員会で一つ一つ取り組み、現状や慣例にとらわれることなく、改めるべきものはその改善に躊躇することなく、着実に進めていきたいと考えます。

校友会の皆様には、平素から学生諸君の教育環境、福利厚生面など、種々ご協力をいただいておりますが、本学の新しい改革を要する大事なときには、なお一層のご協力とご鞭撻をお願いいたします。

CONTENTS

・学園創立70周年を迎えて(理事長・学長) 2~3	・支部レポート 10~12
・校友の広場 4	[愛媛県・神戸市・兵庫県西・鳥取県・新潟県・三重県・埼玉県・柏原市 奈良県・関東・兵庫県但馬・北海道・香川県]
・先生お元気ですか [中瀬寿一先生・小川清六先生] 5	・チャイム 12
・凡友旅に出る [明石海峡大橋と四国方面] 6	・スイートカップル、私たちがんばりました 13
・校友の活躍ぶり拝見 7	・お知らせのページ 14~15
・学園便り 8~9	[平成10年度総会パーティーのご案内 第9回校友会親善ゴルフ大会報告・名簿発刊のお知らせ お悔やみ・創立70周年記念募金・平成9年度決算書・校友会活動報告・編集後記]

校友のひろば

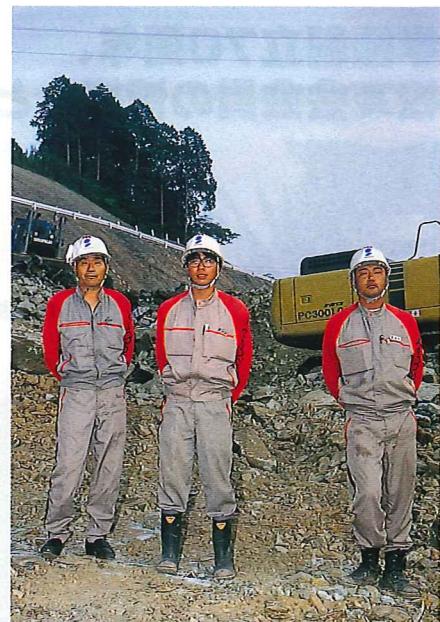


関西を遠く離れて、奮闘する凡友。 再会を楽しみにしています

大学を卒業して4年目。関西を遠く離れ、愛媛県喜多郡の山崎建設（株）松山自動車道

五十崎工事作業所で働いています。やさしい所長？に囲まれ楽しい現場です。

仕事はきびしいけれど、焼き肉を食べると疲れも吹っ飛びます（写真）。同期の岩子君へ：お盆休みに同じ研究室の塩見、条谷と梅田で飲み会をしました。岩子君が欠席だったので盛上がりませんでした。正月休みにはみんな集まって飲みましょう。（H4土木 今岡政貴）



左から大橋所長、筆者、宮本所長

大阪難波にうまいものあり 食いしん坊集合！！

大阪難波で「はし清」という割烹料理のお店をやっています。場所は大阪新歌舞伎座の西隣です。私の生まれは石川県小松市で小学校2年生までいて、大阪に両親と引っ越しました。

料理中の筆者



昭和53年度に工学部交通機械工学科（在学中はスキー部に所属）を卒業後、叔父の店で修業をして、私の親が始めた店を引き継ぎました。食べ物商売ということでお客様のご要望に応えるため、材料の吟味や味付け、値段など毎日が勉強です。（写真）

また、380店が加盟する「難波振興町会」の会計を担当して、地域活性のためにがんばっています。

校友のみなさん、大阪難波にお越しの節は、ぜひ一度お立ち寄りください。お待ちいたしております。（写真）

（S53交機 橋 明弘）

「はし清」 大阪市中央区難波4-3-22
 ■電話 06-633-8293
 ■営業時間 午前11時～午後10時
 ■定休日 日曜・祝日

左から長男の重利、家内の君江、筆者です



ヨット部創設30周年記念 OB会「OVER20KNOT」発会

帆に潮風を受け青い海原を疾走するヨット。我が大阪産業大学体育会ヨット部は創部30周年を迎ました。これを機に、OB会の組織化を計り、現役クラブ員のバックアップ、資金面での支援など積極的に行っていく必要性を感じてヨット部OB会を発会いたしました。また、社会的にも景気の後退など重苦しい状況が続いている中で同じクラブで味わった苦楽を元に、今後の人生においてOBでの仕事の交流を含めた交流が深まればより良いものになるのではと思っています。

今後は、定期的な会合と具体的

な支援の方法について事務局を中心に決めていく予定です。（S57経営 武藤靖矩）

<事務局メンバー>

増田 謙（S46土木）大阪府池田市上池田 1-6-10

上延 康之（S50機械）兵庫県宝塚市中山寺 2-9-5-201

武藤 靖矩（S57経営）兵庫県川西市新田 3-11-3

サニーフラット川西緑台 813

木村 太 兵庫県川西市鼓が滝 3-18-33



・・・先生お元気ですか!・・・

中瀬 寿一先生 プロフィール

1928年3月23日生（70歳）
奈良県生駒市北新町4-52在住
1966年4月～1998年3月まで在職。経営学部で一般経営史などを担当。経営学部長を2期3年、図書館長を1期2年歴任された。1969年中央大学より商学博士授与。1974年ファンボルト大学で特別講義。1977年 経営史国際学会で研究発表。1980年シェフィールド大学客員教授。



別子銅山での住友財閥史に関する調査は印象深い。ゼミ生との共同研究で何度も山の中を這いり回り、苦労してまとめた論文が、経営史学会でとりあげられ、「江戸期の住友研究を発展させた」ものとして高く評価されたとか。学生諸君はもちろん、ご自分にとっても、この上ない刺激と感激を与えてくれた出来事であったということでした。

2.教え子へのメッセージ

「歴史はどうとうと流れる。歴史の流れをつかめ。夢とロマンをもて。人生を精一杯生きろ（エンジョイしろ）。自信を持って頑張ろう。産大卒を誇りに思って」と、教え子の一人一人の顔を思い浮かべるように遠くを眺めながら、熱き思いを吐き出すように、一気に述べられました。

3.趣味について

「趣味と仕事が一致した人生は素晴らしい」とご自分でもおっしゃるように、歩き回ること、登山、資料調査、発掘、発表まさに研究者になるために生まれてきたような人です。最近は目が疲れて、「ビデオ、資料などを見られなくて困っています。

る」と弱音もチラリ。10年前に奥様を亡くされて、急に研究効率が悪くなられたとか。しかし、寂しさをまぎらわせるために、この10年間は主に国内へ目を向けた研究を続けてきたと語る表情からは、研究者としての情熱はいささかも衰えていません。信条は、「希望を語ること。夢を語ること」と常に目は先に向いています。

中瀬 寿一先生の古希と 「永遠なる わが回想」出版を祝う会



取材を前にした、6月30日の朝日新聞朝刊にくしくも中瀬先生の紹介記事が掲載されました。記事には、古希と「永遠なるわが回想」出版を祝う会が開催されたことも紹介されました。先生には、ますます健やかで、いつまでも夢とロマンを持続していただきたいと願うばかりです。

なお、中瀬先生の半生を綴る「永遠なるわが回想」の購入を希望される場合は、以下まで直接申し込みください。

（編集部 田中匡宏）

■発行所 株式会社 耕文社
■〒534-0014 大阪市都島区都島北通 2-1-16
■TEL (06) 922-8885 FAX (06) 922-8887
■郵便番号 00960-0-118215
■定価 20,000円(本体19,048円 税952円)

小川 清六先生 プロフィール

1928年3月29日和歌山県海南市生（70歳）。大阪府堺市竹城台3-16-11在住。昭和28年大阪大学工学部溶接工学科卒。大阪府立大学工学部を経て昭和60年4月本学工学部交通機械工学科准任、溶接工学、船舶工学担当。平成10年3月退職。



非凡人でしょう。しかし、残念ながら“愚かる”非凡人であったのです。大阪産業大学の卒業生の皆さんには、本学の創始者 濑島源三郎先生のこの教えを忘されることなく社会で活躍されるよう願います。

3.趣味について

40年に及ぶ大学教員生活に別れを告げた今、ほっとしたような反面何か物足りないような今日この頃です。健康のために、原則として、毎日約1時間の歩行（散歩）、1日1万歩を目標にして歩いています。また8月は暑いので中止していましたが、毎月2～3回のゴルフが私の健康を兼ねた趣味といったところです。ただしスコアは、問題外、ハーフでエイジーシュートに近いスコアです。

年齢を経ると共に小学校から大学まで同窓会の案内が多くなりました。去る8月16日、五山の送り日には、旧制和歌山中学の古希の同窓会が出身地和歌山で開催されました。卒業生250名中出席

者50余名、物故者65名でした。大半が50年ぶりで会う連中で、会った瞬間は全くわからないのが、しばらくじっと見ていると昔の面影が浮かんできて“おーお前か！”といったなつかしいひとときでした。写真は昨年末撮った我が家の大勢11人です。孫はすべて男で、女性は家内と嫁2人の計3人だけです。世間では、生まれてくる子どもは、夫婦の弱いほうに味方して生まれてくる、即ち女が強ければ男の子が生まれてくると云われます。すると、私の子ども、孫すべて男と云うことは、我が家の大内、嫁2人の女性3人は非常に強いということでしょうか。

（編集部 馬込正勝）



2.仕事の想いで

ところで、最近の厚生省、大蔵省等々の高級官僚の不祥事を見るにつけ“偉大なる凡人たれ”と説かれた我が瀬島源三郎先生の偉大さには改めて感服するばかりです。不祥事を起こした高級官僚の彼らは、世に云うエリート中のエリート、即ち

凡友旅に出る SHIKOKU

明石海峡大橋を渡ろう!

1.世界最長の吊橋が完成

平成10年4月5日。10年間の歳月と約4000億円の事業費をかけ、日本の橋梁技術を結集した明石海峡大橋（中央支間長1,991m）が完成しました。

イギリスのハンバー橋（中央支間長1,410m）、デンマークのグレートベルト・イースト橋（中央支間長1,624m）を抜いて世界最長の吊橋となったのです。また、神戸淡路鳴門自動車道も全線が開通して、四国がとても身近になりました。



2.とにかく大きい明石海峡大橋



明石海峡大橋を見るなら「神戸舞子タワー」。明石海峡大橋の主塔高さは297m、橋の長さ3,911m。なんて高くて長いんだ！少々興奮気味の凡友君。次は明石海峡大橋の神戸側アンカレイジ8階にある「舞子海上プロムナード」に移動。ここは、海面から46mの高さに設けら

れた明石海峡大橋の中にある展望施設です。ガラス張りの床面があり、空中散歩の気分が味わえますよ。

いよいよ明石海峡大橋を渡ります。自家用車で渡る場合は、垂水JCTから神戸淡路鳴門自動車道へ。明石海峡大橋を渡る所要時間は約5~6分。眺めがいいので爽快です。橋の上は駐停車禁止なのでくれぐれもご注意を。



5.世界初の三連吊橋

足をのばして今治へ。今治の少し北にある糸山公園には来島海峡展望館があ

り、西瀬戸自動車道の来島大橋（平成11年完成予定）を見ることができます。来島大橋は大島の吉海町火内鼻から武志島、馬島、今治市糸山を渡る3つの吊橋が一本につながっているので三連吊橋と呼ばれています。二連吊橋は瀬戸大橋にもありますが、三連吊橋は世界で初めてです。瀬戸内海は長大橋の国際見本市。平成11年の春には西瀬戸自動車道（尾道・今治ルート）の供用が予定されています。ドライブが好きな校友のみなさん。長大橋と瀬戸内海の幸を求めて出かけませんか？

（編集部 高見新一）

3.淡路島の名物は「あわじびーる」？



あつという間に淡路島へ。淡路サービスエリア内にあるハイウェイオアシス「オアシス館」で一休み。ここでの名物はその名もズバリ「あわじびーる」。細やかな泡で味もグッドの地ビールです。淡路牛飯定食、たらいうどん、瀬戸内丼もおすすめです。

4.鳴門の情報発信基地



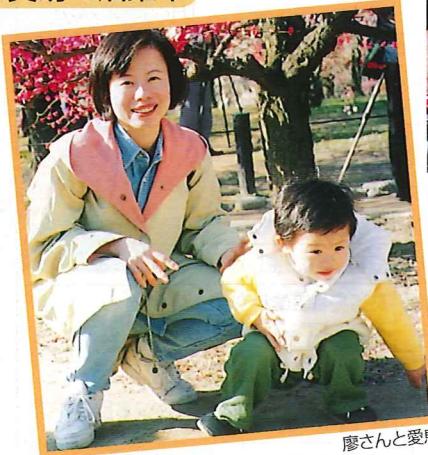
は「アスティとくしま。多目的ホール、とくしま体験館、徳島工芸村の3つの機能を備えた観光コンベンション施設です。「とくしま体験館」では阿波踊りにチャレンジすることができ、「祖谷のかずら橋」を渡る体験や「傾城阿波の鳴門」の人形浄瑠璃を見ることができます。



台湾から留学、卒業後は台湾との貿易で活躍中

●廖麗敏(リョー リミン)さん (H6経営)

今回は、台湾から産大に留学され、平成6年経営学部卒業後、台湾と日本との貿易に従事されておられる廖麗敏さんを紹介いたします。廖さんは台湾高雄市出身で、高校卒業後2年間勤めた電話局をやめ、台湾の大学に進学されました。当時はアメリカへ行くことが夢だったそうですが、渡航ビザの取得が困難であったため、アメリカ行きをあきらめられました。その後、「日本に行かないか」と親友に誘われ、台北の大学を中退し、台湾と習慣も食も余りかわらない日本に留学することを決意されたそうです。日本語に悪戦苦闘のなか産大では経営学を専攻され、遠藤一久教授のゼミで不動産会計学をテーマに卒論をまとめられました。日本で経営学を専攻することは、必ずしも第1希望ではなかったものの、



廖さんと愛息

留学生親睦会、学友と教授宅訪問や大学祭などを通して日本の生活や習慣など学問以外のことでも学ばれ「産大に入学して良かった」と話されています。卒業してから数年後に日本人と結婚。日本で貿易会社を設立されました。



中央に遠藤教授、その左どなりが廖さん

おもな業務内容は日本から台湾へ建築資材や環境問題に関連した商品などを輸出することです。詳細については「現在のところまだ規模も小さく、とても話せるほどではない」とのことですが、「今後発展させたい」と頑張っておられます。現在、一児の母でもあり、家庭と仕事の両方に追われる毎日とか。また、校友会が現在すすめている初めての海外支部である「台湾支部」の結成に向けてご尽力いただいております。現在のお住まいは、大阪府東大阪市です。

(編集部 矢来篤史)

しなやかに竹をあやつる竹工芸技能士の世界。 ●一級竹工芸技能士 石田秀雄さん (S44 産短自)



大阪・四天王寺近くの松屋町筋に竹製の“ピカチュウ”と“ミッキーマウス”が迎えてくれる店があります。今回は一級竹工芸技能士である石田

竹材店の二代目石田秀雄さんをお訪ねしました。色々な竹を販売しているのかと思って訪ねると、竹製品の設計・制作・施工がメイン。竹の癖を読みとり、トーチランプ一つで自在に竹を曲げ、竹で作れる物は何でも作る大阪でも数少ない竹の専門店でした。竹と言えば、庭の竹垣を思い浮かべますが、これにはいくつかの基本があり、これらを組み合わせると、何十種類の竹垣ができます。仕事はまず現場

を見て完成イメージをデザインにすることから始まります。小さい現場は竹垣に留まらず、時にはそれにあった庭まで全て一人で施工するそうです。これらは現場でプロの仕事を見て覚えたとか。この様な仕事ぶりが評価され、これまでの竹垣の範囲に留まらず、店舗の装飾や食べ物を盛り付ける器、さらに御堂筋パレードの作品など大から小まで挑戦しています。なんと花博の竹のゲートも手がけました。



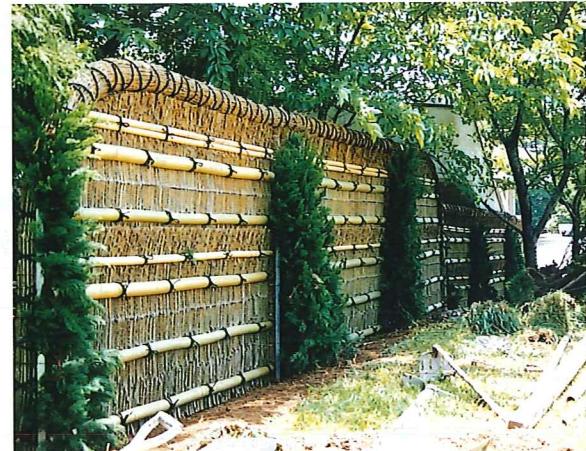
石田さんは大阪では二人ほどしかいない一級竹工芸（割組竹工芸品制作作業）技能士です。この資格を取得するためには時間内で与えられた図面通りに竹を加工し作品を完成させる技能試験と、竹の特長、加工方法はもちろん図面、物理、化学、食品衛生などの学科試験に合格する必要があります。最近学校から竹製品の製作を生徒に指導して欲しいとの依頼があ

り、担当されました。材料の竹は京都や九州産が主ですが、竹を切り出す人が減り、単価が高くなってきたため、最近ではプラスチック製の竹が主流です。いつまでも真新しい竹は逆に風情がないかも。

竹の使われ方も変わり、時代に合った製品の研究と伝統的手法の継承が大切で、店の奥には勉強中の未完成品がいくつか置いてありました。その手は傷つき指先は火傷していて、まさにチャレンジャーの証のようです。竹を取り扱う職人と店が年々減少し深刻な問題となっています。竹の文化を守るためにも今後益々のご活躍をお祈りいたします。

石田竹材店 TEL.06(771)2047

(編集部 平佐多敬二)



R支部レポート Report

愛媛県支部

7月5日(日)オオズプラザホテルで開催



次回は家族同伴で！とアットホームな雰囲気を大切にしている馴染みの顔ぶれですが、非常に仲の良い友人関係ができています。総会は、出席者全員で知り合いに電話で呼びかけ、さらなる盛り上がりを目指そうということになりました。また、学校のポスター張りについては全員一致の賛成で協力しようとすることになりました。（支部長 渡部一誠）

神戸市支部

6月28日(日)

ホテルグランドビスタ神戸・北野で開催



総会の審議が長引き、懇親会の予定時間を審議にあてるほどの総会となりました。今回の総会では地区幹事の方々の協力によって電話で参加の呼びかけを行なうなど、動員の努力をいたしました。その結果、役割分担や相互の苦労も数多くあり、ますます親密度が増し、支部を盛り上げていこうという共通の意識付けができたと思われます。

今回の総会では、40~50名参加を目標としていましたが、地震後の影響や不況等様々な理由から、参加が少なかったと思います。しかしながら、開かれた神戸市のイメージ通り、他の地域の方々の事まで思いを巡らせていることがわかり、認識を新たにいたしました。明石海峡大橋も開通し、これからもさらなる交流の輪が広がればという意気込みが感じられた総会でした。（支部長 森本 勉）

兵庫県西支部

7月12日(日)姫路キャッスルホテルで開催



本部から美内照男副会長、福井義員幹事の出席をいただき、54名の参加者がありました。起業家・2代目など元気者の商売人、事業家が多く、今回も大いに盛り上がりをみせました。自己紹介、近況報告のあとビンゴゲームも行ない、この収益金の一部を社会福祉法人「ハッピーベル」に寄贈させていただきました。また、ぜひゴルフコンペを！という声もあり、その模様も次回あたりご報告ができると思います。（支部長 大久保 司）

鳥取県支部

7月5日(日)鳥取ワシントンホテルで開催



日本一人口の少ない県、しかも東西に長く、最高2時間かけて駆けつけてくれた参加者は、母校への思いもひとしお。校友会池田会長、今村幹事のご出席、参加者20名を数える盛況ぶりでした。総会では年1回の支部総会の開催と校友会員の出席者拡充を目指す議決を行ないました。卒業以来大学に行なったことのない人も多いため、母校見学ツアーを企画中です。また今回は、創立70周年記念募金のため募金箱を会場に設置、参加者から3万円強の募金が集まりました。（支部長 下山博司）

●以下役員布陣です。

役職名	氏名	卒年 学科
支 部 長	広田 潔	S41・交短自
	田村 順作	S41・交短自
副 支 部 長	長田中潤一	S45・機 械
	五十嵐 薫	S45・短 自
会 計 幹 事	飼沢 広志	S48・経 営
	閑根 繁之	S39・交短自 S43機工
幹 事 事	信田 真	S39・交短経
	山本 哲次	S45・交 機
	南波 寿一	S46・機械II
監 事	藤井 文世	S43・短 自
	内山 義雄	S54・交 機

新潟県支部

6月27日(土)ニュー弥彦ホテルで開催



信濃川流域は、なだらかな丘陵地帯に点在する縄文遺跡で全国的に知られています。このあたりから出土する火焔土器は、その造形美はつとに有名です。ところで今回は、10人の参加者によって、支部を運営する上の重要な事項を中心にした議題で討議を行ないました。そのひとつとして、創立70周年記念寄付金については、参加者全員1万円の寄付を行うことを決定しました。また、今後の総会の開催について隔年開催を行なうこととし、また役員の選出も行い参加者全員、和気あいあいの中、閉会となりました。（前支部長 近藤周二）

●以下役員布陣です。

役職名	氏名	卒年 学科
支 部 長	広田 潔	S41・交短自
	田村 順作	S41・交短自
副 支 部 長	長田中潤一	S45・機 械
	五十嵐 薫	S45・短 自
会 計 幹 事	飼沢 広志	S48・経 営
	閑根 繁之	S39・交短自 S43機工
幹 事 事	信田 真	S39・交短経
	山本 哲次	S45・交 機
	南波 寿一	S46・機械II
監 事	藤井 文世	S43・短 自
	内山 義雄	S54・交 機

三重県支部

3月8日(日)第10回支部総会開催



今回は名張市の割烹ホテル「耕」にて開催いたしました。これまで、人口の多い北勢・中勢地区(四日市・津市)での開催でしたが、今回は、卒業生が2/3を占める伊賀・名張地区を始めて選んだせいか、6人も新参加がありました。出席者は16名。総数670人弱から見れば出席率は高くありませんが、新しく参加された方から「こうした支部総会を知らなかっただけ」との意見が出て、PR不足もあったのかと、反省しております。

議事は、会計報告・会計監査報告、役員改

選と進みました。中でも永らく支部長を務めていた山本孝文氏が勇退され、私、渡辺がこの大役を引継ぎました。先輩の山本さんのようにアグレッシブではありませんし、わずか2歳の若返りですがご指導、ご支援よろしくお願ひいたします。

関連役員の承認・紹介のあと、懇親会を開催。初めて参加の方も、旧来の方も和気あいあいといろいろな話題で盛り上りました。

●以下役員布陣です。 (支部長 渡部 優)

役職名	氏名	卒年 学科
支 部 長	渡部 優	S46・経営
	西岡 民生	S44・短自
副 支 部 長	水野 直樹	S46・土木
	増田 伸博	S49・土木
会 計	佐藤 正幸	S50・交機II
	森河 孝弘	S53・経営
会 計 監 査	杉本 隆繩	S57・土木
	松田 知己	S63・機械
顧 問	瀬島順一郎	大阪産業大学教授
	梅原 一男	S43・交機II

埼玉県支部

7月19日(日)別所沼会館で開催



総会では、参加拡大の件と会計報告などの議案を討議。ご子息がそろそろ大学入試の時期にあたる会員から、母校の入試に優遇措置を設けてもらえないか、との意見もありました。まだ、弱小支部で毎年試行錯誤、今年も新しい顔が1人、「昨年参加した人が顔を出していただければプラス2だった」などと、気持ちしないで来年に向けて参加者人数を2桁にもっていきたいと考えています。支部活動の情報伝達（不参加の返信葉書をいただいた方には再度電話にてラブ・コール）、来年の総会参加者拡大へつなげるよう努力しました。

(支部長 鈴木菊男)

柏原市支部

3月14日(土)第6回支部総会を開催



S53機械卒小沢氏の司会で開会宣言したあと、吉内支部長より挨拶。同支部顧問の山西柏原市市長、本部池田会長より挨拶があり、本部出席者の紹介が行われました。その後議長に力石氏が選出され、議事に入りました。経過報告にはじまり、会計報告、監査報告を行なって、承認されました。

こうした内容以外に、吉内支部長より秋の本部総会までに、①支部をさらに発展させるために中河内と南河内地区（松原市と美原町を除く）に地域の範囲を広げたい。②同支部に参加している加藤氏が堺市以南を泉州地区として支部の発足を考えている、という提案がされ承認されました。

(支部推進部 福井義員)

奈良県支部

3月29日(日)ホテルフジタ奈良で開催



本部より川本副会長、福井幹事に出席していただいての開催となりました。

会計報告、監査報告が承認されたあと、2案件（①支部会則の会員資格に大学院修了者を追記、②支部役員の全員留任）が討議され全員一致で承認されました。

今回は、昭和37年卒業の諸先輩から、平成4年卒業のフレッシュな会員まで親子ほどの年齢差のある会員が一同に揃いました。笑いあり、意見交換、中には自分の父親の友人が参加者の中にいたという新たな発見に驚きを隠せない若手会員もいたりで終始和やかな懇親会となりました。

また、席上のインターネットの話題から「奈良県支部のホームページ」創作の話が持ち上がり、多数の賛同で実現に向けて検討しようということになりました。非常に発展的な会となりました。次回の総会では、より多く、幅広い年齢層の参加がいただけるように祈念しています。

最後に、「学園の記念募金活動」への支部協力に際し、支部口座への振り込み、総会当日の募金箱へのご協力本当にありがとうございました。

(支部長 森田富士男)

関東支部

3月29日(日)霞ヶ関ビル33階にて開催



月末に加え、年度末というタイミングが重なりスケジュール調整できず、参加できない旨の返信を多くいただきました。本部より池田会長、今村幹事、横浜在住の伊沢教授も駆けつけていただき、盛大な総会となりました。「忙中閑あり」卒業以来久しぶりに会った方々も何人かおられて盛り上りました。業界のスペシャリストの方々ならではの貴重な話をお聞きできたり、初めて参加された方々からは次回の参加を約束していただいたのは何より嬉しいござります。新しい方にも幹事に加わっていただき次回はさらに盛り上りのある会にしたと考えます。 (支部長 井上静也)

兵庫県但馬支部

2月22日(日)城崎温泉「城崎大会議会館」で開催



平成8年12月に支部を結成し、支部総会を昨年7月予定したのですが、台風の影響で止むなく中止。やっとこの日を迎えることができました。本部より大植副会長、今村幹事をお迎えしました。会員24名が出席してくれました。支部結成後の総会2回目で会員の輪の広がりを実感させるほどの盛況ぶりでした。

大植副会長より母校70周年記念事業の意義、大学の現況と将来への展望等のお話をいただき、議事を予定通り進行し、無事終了しました。大学のVTRを放映しながら話が弾み、近くに住んでいても初対面の会員が多くなにもかかわらず、盛り上がりを見せ予定の時間があっという間に過ぎていきました。

次回は、来春、桜の頃に出石郡地区での開催を予定。皆その時が待ち遠しい様子です。

(支部長 岸本隆男)

R 支部レポート Report

北海道支部



いつもと趣向を変えて、市内観光半日コース（サッポロビール園～羊ヶ丘～北海道開拓村）からスタート。昼食はジンギスカン料理と生ビールを企画しました。「総会前に飲んでもいいのかな？」と心配もしましたが、まあ良いじゃないですか。

支部総会、懇親会は“すすきの”にある「ジャスマックプラザ」地下1階“花遊膳”で開催。会務・会計報告、70周年記念募金、新役員の選出を行い新任監事に吉村貴志氏（S54 経営）を選出し、他全員再選されました。

次の開催地は道東の層雲峠が候補地となりました。懇親会も盛り上り2次会へ。（写真）

●来賓のご紹介（敬称略）

大阪産業大学理事事務部長……藤野 清久
大阪産業大学校友会副会長……川本 一雄
大阪産業大学校友会副会長……高見 新一
大阪産業大学校友会柏原市支部長……吉内 秀徳
大阪産業大学校友会新潟県支部幹事…関根 繁之
(支部長 浜田修平)

香川支部

9月6日(日) ホテルニューフロンティアで開催



今回來賓として大植義夫副会長、平野明彦代議員、筒井健一徳島支部長、大久保隆教高知副支部長にご出席いただきました。肩を張らず何でも話あえるフレンドリーな雰囲気を大切にしているので、皆和気あいあいのムード。年齢に関係なくぎやかな会話を中心にした集まりとなりました。

なかでも高知名物の「箸拳」（はしけん）や「猪口を使ったゲーム」は、遊びごろ満点、香川県では味わえないエキサイティングな盛り上がりを見せました。このゲーム、今年4月に四国4県の有志が高知に集まった際、そこで感動した長田支部長の忘れもしない思いでの1ページを総会で再現したものです。
(事務局 梅木俊郎) ●以下役員布陣です。

役職名	氏名	卒年 学科
支 部 長	長田 恒久	S46・機 械
	皆見 晴久	S48・交 機
副 支 部 長	西山 巍	S49・短 自
	松永 和典	S61・経 営
会 計	吉本 博文	S50・機 械
	岡本 正廣	S57・経 営
監 事	飯間 秀樹	S55・土 木
	植田 秀明	S55・土 木
顧 問	眞田 卓克	S37・交短自、S43・機械II
	橋本 修洋	S38・交 短
事 務 局	梅木 俊郎	S43・産短自

チャイム
[Chime]

..... EVラリー

この夏、四国で電気自動車（以下：EV）のラリーが開催されました。参加台数は、40台で、正式な自動車として運輸省に登録をしています。例外として自転車型やアメリカから参加したソーラーカー（臨時ナンバー取得）もありましたが、ほとんどが正式に公道を走行することができる自動車です。高松市を起点に最終の高知市に至る約500kmの距離を4泊5日で走行するという日本で初めて開催されたEVラリーです。

ガソリン車と全く変わりのない自動車が、モーターのかすかな、虫の鳴くような音だけを残して静かに走っていく様は実に変わっています。イメージしたよりも、はるかに不思議な光景なのです。近い将来このような自動車があちこちで走りまわるのを想像するとどれほど世の中が静かになるのだろうと考えてしまいます。たとえば町中では電気自動車のみの走行が許されるとすれば、朝夕ののどかな時間には、小鳥のさえずりが聞こえてきて、人も今よりはゆったりとした気分になり、狂暴な犯罪も少しは少なくなるのでは？などということもありそうです。

ただ現実の問題は、その走行可能距離が少ないとことです。最大の問題はバッテリーの性能、これが今より飛躍的に向上すればよいのですが、EVが会場内を走行中に、そのあまりの静かさに見物客に後ろからEVが近づいても気づいてもらえない点です。これからのEVの交通を考えると少し課題となるかもしれません。対策としては、静かなEVに騒音（？）のなるよな音源を搭載することも考えなければならないとか？と変な心配をするのは、A&Aだけでしょうか。（A & A）

これからのお・知・ら・せ

大阪北河内支部

11月1日(日)、秋恒例の支部総会

大学構内14号館10階ラウンジで開催
毎年秋恒例の大坂北河内支部総会、今年は母校の阪駒祭に合わせて開催いたします。初参加の会員の皆様、お待ちしています。

●支部長

金井 章 S49 経営
(TEL 0720-91-4059)

大阪泉州支部

11月15日(日)
大阪泉州支部結成

堺市以南の大阪泉州地区に（会員数3,000名）に校友会32番目の「大阪泉州支部」を結成することになりました。該当地域にお住まいの会員の皆様、同窓の縁を深めようではありませんか。

他地域から泉州地区に勤務されている方も大歓迎です。

●結成発起人
加藤 豊 S43 経営
(TEL 0722-50-3105)

鹿児島県支部

11月21日(土)
城山観光ホテルで開催

昨年は、支部結成10周年をみんなで喜び合いました。本年から15周年、20周年をめざす新しい年になります。これを機会に奮ってご参加ください。

●支部長
赤崎 一弘 S43交機II
(TEL 0993-86-2123)

●校友会事務局（担当福田）へお問い合わせ頂いても結構です。（TEL 0720-75-3040）

Sweet Couple



●加藤 清司 (S53交機)
【結婚式】平成10年4月7日
【住 所】京都市伏見区魚屋町574
ハイツ桃山 510



●目片 明美さん (旧姓筒井H5環境)
【結婚式】平成9年11月3日
【住 所】奈良市鳥見町4丁目1-2
富雄団地 3-405号



●田中 有紀子さん (旧姓 渡邊 H5 経営)
【結婚式】平成9年11月30日
【住 所】千葉県松戸市新松戸 7-173
サンライトバストラffic五番街A-801



●矢野 孝昭さん (H7 経営)
奈央子さん (旧姓本間 H7経営)
【結婚式】平成10年3月29日
【住 所】神戸市東灘区向洋町中
6丁目6-613-1021

私たち、がんばりました

硬式野球部

- ◆ 平成10年春季リーグ
3位 (6勝6敗)
個人賞ベストナイン 広岡成浩 (経営4年)
- ◆ 関西地区5リーグ対抗戦
平岡 成浩 (経営4年)
武村 昭良 (経営4年)
福原 基敏 (工学2年)
3名が阪神リーグ代表として参加

剣道部

- ◆ 大阪学生剣道選手権大会
(4/19 近畿大学) 優勝 禅院健太 準優勝 安井征夫
- ◆ 関西学生選手権大会
(5/10) ベスト32 池田好晃
- ◆ 大阪学生剣道選手権大会
(6/21) 個人戦 奨励賞 松田泰典 団体戦3位
- ◆ 全日本学生剣道選手権大会
(7/5) 出場 池田好晃
- ◆ 全日本学生剣道東西対抗戦
(7/5) 西軍関西連盟代表 池田好晃

少林寺拳法部

- ◆ 関西学生大会 (5/24 府立体育館)
二人掛けの部決勝進出 田中 礼 (環境3年)
伊藤 一博 (経済2年)
垂水 宗 (経営2年)
- ◆ 東大阪大会 (5/31 東大阪アリーナ)
一般男子有段の部決勝進出
藤田 一真 (流通2年)・垂水 宗 (経営2年)
一般混合の部優勝
田中 礼 (環境3年)・伊藤 一博 (経済2年)

チアリーディングチーム

- ◆ 硬式野球部応援 (4/18・5/15)
- ◆ アメリカンフットボウル応援 (5/16・31)
- ◆ 阪急西宮ボウル (6/27 他大学と混合チーム)
- ◆ グッドウイルボウル (7/5)

II部自動車部

- ◆ ジムカーナ フレッシュマンシリーズ
(4/26) クラス25位・32位
- ◆ ジムカーナ フレッシュマンシリーズ
(6/14) クラス25位
- ◆ キャンパスオフロード
(6/28) エキスパートA 3位・スプリント5位、8位
- ◆ ジムカーナ フレッシュマンシリーズ
(7/12) クラス3位
- ◆ 四国モトクロス選手権参戦

バドミントン部

- ◆ 関西学生バドミントン春季リーグ戦
男子 3部3勝2敗4位で3部残留
女子 3部4勝1敗2位で2部と入れ替え戦へ
大産大1-3関西大よって2部昇格ならず

軽音楽部

- ◆ 春のジョイントコンサート
(尼崎ビブレライヴスクウェア)

スキー競技部

- ◆ 第68回全関西学生選手権大会 (3/1~6)
男子3部 (出場37校) 総合優勝 2部昇格

サイクリング部

- ◆ 清水・杉野杯自転車競技大会ポイントレース 青年の部
(4/29) 西山 竜 5位
- ◆ 美山サイクルロードレース ジュニアクラス
(5/31) 西山 竜 5位
- ◆ 全日本大学対抗選手権 自転車競技大会
(インカレ) (7/26) 予選通過
- ◆ 全日本MTB選手権 in 長野岩岳
(6/14) 稲垣 寛之 スポーツクラス 6位
伊藤 忍 スポーツクラス 48位
- ◆ MTBジャパンシリーズXC第2戦 in 北海道天狗山
(7/15) 伊藤 忍スポーツクラス 6位
玉置 昌弘エリートクラス 18位
- ◆ MTBジャパンシリーズXC第3戦 in 島根三瓶山
(7/19) 伊藤 忍スポーツクラス 7位
玉置 昌弘エリートクラス 19位

美術部

- ◆ 春季合同部展 (5/25~30)
- ◆ 文化会フェスティバル参加 (6/28)

バスケットボール部

- ◆ 第25回関西学生バスケットボール選手権大会
(4/25~5/5 61校) 4回戦敗退 ベスト16
- ◆ 男子第48回西日本学生バスケットボール選手権大会
(5/23~5/31 127校) 準々決勝敗退 ベスト8
- ◆ 平成10年度関西学生バスケットボール新人戦
(6/6~13 60校) 準々決勝敗退 ベスト8
- ◆ 第16回 大阪学生バスケットボール選手権大会
(7/4~12 25校) 準決勝敗退 第31位

無線部

- ◆ 秋季関西VHFコンテスト
(1997年10月4~5日実施)
結果報告がこの5月にありました。
管内局電信電話社団部門1位

お知らせの ページ



平成10年度 校友会総会パーティのご案内

楽しさいっぱい皆さん渝ってご参加を！

日時 平成10年11月8日(日) 12:00~

場所 ホテル日航大阪

**●平成9年度 (H10年3月卒業)
卒業生は無料！**

●●● 交通のご案内 ●●●

地下鉄御堂筋線 心斎橋駅8番出口直結

- 大阪国際空港から、車で阪神高速池田線25分
- 関西国際空港から、南海電鉄・地下鉄御堂筋線で40分
- JR新大阪駅から、地下鉄御堂筋線で15分
- JR大阪駅・各線梅田駅から、地下鉄御堂筋線で10分
- 難波から、地下鉄御堂筋線で2分



◆第9回校友会親善ゴルフ大会

優勝 日野氏 (S51経営)
学園創立70周年記念祝賀コンペにも3位入賞



恒例の第9回親善ゴルフ大会は、9月8日(火)京都加茂カントリークラブで開催。本年は、学園創立70周年の慶事にあたり、4月に学園外郭7団体(大学・高校後援会、同窓会他)主催による祝賀ゴルフコンペの開催が決定されましたので、それにも参加していただきたくダブルコンペとしました。

当日は、絶好のゴルフ日和となり、祝賀コンペには、学園関係者とその家族・友人などの総勢355名、うち校友会ゴルフ大会には、34名の参加者となりました。なお参加費とご祝儀を含め、453万円を寄付金として学園に贈られました。校友会ゴルフ大会優勝は、初参加の日野晋吾氏(S51経営)となり池田会長より栄えある優勝カップを授与されました。なお、日野氏は祝賀コンペの3位にも入賞。「卒業後はじめて行事に参加し、こんな栄誉に浴した。これを機会に校友会活動のお役に立ちたい」とあいさつされました。

◆校友会員名簿作成のお知らせ

平成7年より4年ぶりに、「校友会員名簿」を全面改定することになり、今後作業を進めていくことになりました。「会員の皆様が、この名簿で、共に学んだ青春の日々を思い出し、懐かしみ、さらに将来に向かっては、同級生との親睦を深め、連帯を一層強めるために、ご活用いただければと願っております。」

つきましては、会員の住所などの情報を正確に把握するため、前回の名簿をもとに、調査カードを各人にお送りいたしますので、内容を良くお確かめの上、ご返信をお願いいたします。

なお、名簿作成は、前回同様に、専門会社である(株)サラトに委託して行ないますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

- 発行予定／平成11年10月下旬
- 名簿価格／6,800円(送料・税込)
- 掲載内容／氏名(旧姓)、郵便番号、現住所、電話、勤務先・電話
- 規 格／B5版・約1,738頁・上製本・化粧ケース入り
- 特 色／写真集・学校沿革・50音順総索引付き

【発行までの主な日程】

10月	99年1月	2月	3月	..	8月	9月	10月
(調査力 発達)	不明者 調査開始	第2次調査	第3次調査	調査終了	印刷 製本	→	発送

お願ひ

最新の同級生の住所資料をお持ちでしたら、お送りください。

◆皆様のご協力で！ 住所不明者300名 物故者33名が判明

春の会報「凡友54号」で住所不明者(4,500名)の同期不明者・氏名を同封し、情報提供をお願いしたところ、住所300名と同時に物故者33名(お悔やみ欄に掲載)が判明しました。ありがとうございました。

◆お悔やみ

- ・今西 一正 (S2 6交換) 平成10年 2月 1日逝去
 - ・山内 宣雄 (S2 7交換) 平成 7年 6月19日逝去
 - ・御旅屋正勝 (S4 3短自) 平成10年 6月15日逝去
 - ・市原 好博 (S4 4短自) 昭和45年 4月 4日逝去
 - ・原 武司 (S4 4交自) 平成 8年 6月28日逝去
 - ・五条 朝夫 (S4 4短自) 平成 9年 7月 逝去
 - ・北村 稔 (S4 5機工) 昭和50年 4月25日逝去
 - ・土井口 正 (S4 5短自) 平成10年 2月 2日逝去
 - ・原口正一郎 (S4 8経営) 平成 9年 8月10日逝去
 - ・福田 義郎 (S4 8交機) 平成 6年 8月31日逝去
 - ・片岡俊一郎 (S4 8短自) 逝去
 - ・有村 和博 (S4 9経営) 平成 8年12月 6日逝去
 - ・山口 健二 (S5 0短自) 昭和55年 2月21日逝去
 - ・田中 常博 (S5 0交機) 平成10年 1月16日逝去
 - ・松田 武志 (S5 1交機) 平成 8年 9月20日逝去
 - ・神谷喜久男 (S5 2交機II) 昭和55年 8月19日逝去
 - ・筒井 秀和 (S5 2機工) 昭和57年 6月10日逝去
 - ・中島 英治 (S5 2経営) 平成 8年12月16日逝去
 - ・龜井 泰造 (S5 2短自) 逝去
 - ・隅谷 裕 (S5 3機工) 平成 4年 逝去
 - ・辻 雅博 (S5 3経営II) 平成 9年 1月25日逝去
 - ・宮田 正史 (S5 4経営) 昭和55年 7月 5日逝去
 - ・江口 丈平 (S5 4経営) 平成 9年 9月 2日逝去
 - ・日下 隆 (S5 4短自) 平成10年 3月 逝去
 - ・上村 彰 (S5 5経営) 昭和61年10月12日逝去
 - ・佐々木勇人 (S5 6短自) 平成 7年12月 4日逝去
 - ・立野 敦士 (S5 8経営) 平成 9年12月 7日逝去
 - ・辰巳 信也 (S5 9短自) 平成 7年 7月24日逝去
 - ・石之 守人 (S5 9経営II) 平成 9年 3月 逝去
 - ・利根 博通 (S6 2短自) 平成 8年 9月29日逝去
 - ・出原 雄二 (S6 3交機) 平成 9年 7月 6日逝去
 - ・高橋 宏幸 (H元短自) 平成 9年 7月 逝去
 - ・石谷 昌敬 (H3電電) 平成 6年12月 3日逝去
 - ・下村 幸司 (H4 交機II) 平成 9年 7月 逝去
 - ・内田 孝男 (H6 短自) 平成10年 3月22日逝去
 - ・川口 裕史 (H8 短自) 平成10年 4月21日逝去
 - ・野矢 光司 (H8 短自) 平成10年 4月28日逝去
- 教養部 新聞講三教授(数学) ご逝去
平成10年8月22日 享年63才

学園創立70周年 記念募金

校友会 累計 1億4086万円
学園全体 累計 8億9830万円1千円
平成10年 9月10日現在

記念募金のご賛同ありがとうございました。前号でご報告しました平成10年2月10日現在3683万9千円から、2月11日～9月10日の間1億402万1千円の募金をいただき、累計1億4086万円となりました。この中には、校友会特別会計からの6月26日付1億円が含まれています。平成10年2月11日～9月10日のご芳名を掲載させていただきます。なお校友会からの記念品は先日お送りさせていただきました。

井村一憲、長田恒久、池野良和、隅 万紀夫、浜田修平、宝田茂樹、黒厚司正和、西森正彦、山本紳一郎、板倉健二、谷口義清、若林伸彦、讃岐幸市、青木勇策、遠藤誠俊、藤原辰夫、市村莞爾、外山史高（敬称略）

※学園、教職員の方は除く

校友会の団体

代議員会／兵庫県但馬支部／三重県支部／柏原市支部／奈良県支部／関東支部／幹事会／校友会本部／神戸市支部／鳥取県支部／新潟県支部／北海道支部

支部からの募金額

支部総会に出席された方に、募金箱を廻すなどしてご協力をいただきました。

支部名	募金額(千円)
兵庫県但馬	277
三重県	280
柏原市	306
奈良県	306
関東	274
神戸市	273
鳥取県	282
新潟県	350
北海道	329

募金期間

平成11年3月末まで延長

来年3月末まで、さらに一人でも多くの賛同をお願いする活動を続けます。会員各位におかれましては、金額にとらわれずご賛同を心よりお願い申し上げます。

平成9年度決算書

●一般会計 (自 平成9年4月1日～至 平成10年3月31日)

収入の部 (単位:円)

	決算額	予算額
前期繰越金	18,977,281	980,000
校友会費	66,640,000	58,000,000
会費収入	863,000	968,000
雑収入	361,155	315,000
合計	86,841,436	69,083,000

支出の部

	決算額	予算額
会議費	7,114,035	7,174,000
総会費	6,200,000	6,200,000
通信費	700,000	700,000
印刷費	633,301	780,000
会報費	14,411,376	15,044,000
備品費	130,894	150,000
旅費交通費	4,869,140	6,471,000
慶弔費	250,000	250,000
消耗品費	340,000	340,000
会員名簿費	3,245,000	3,245,000
記念品費	8,723,362	9,320,000
助成金	7,641,803	9,954,000
広報費	392,490	800,000
人件費	3,611,304	3,700,000
雑費	370,720	480,000
賃借費	579,624	620,000
福利費	170,530	450,000
予備費	999,549	3,405,000
小計	60,383,128	69,083,000
財政安定化基金繰入	9,177,281	0
次期繰越金	17,281,027	0
合計	86,841,436	69,083,000

●特別会計(財政安定化基金)

収入の部 (単位:円)

	決算額	予算額
前期繰越金	373,851,157	373,848,288
受取利息	3,066,023	3,000,000
前年度一般会計繰入	9,177,281	0
合計	386,094,461	376,848,288

支出の部

	決算額	予算額
学園創立70周年記念事業募金	30,000,000	30,000,000
次年度繰越金	356,094,461	346,848,288
合計	386,094,461	376,848,288

■5月7日会計監査終了。11月8日代議員会で承認決議に付されます。

校友会活動報告 (H10.2.7～H10.9.19)

●平成10年

2月 7日(土) 幹事会(ホテルエコーオーサカ)

2月14日(土) 第41回代議員会

(ツイン21・MIDIタワー)

2月20日(金) 編集部会(校友会事務室)

兵庫県但馬支部総会

(城崎大会議館)

2月22日(日) 編集部会(校友会事務室)

支部推進部会(校友会事務室)

柏原市支部総会(サンヒル柏原)

会報54号発行

3月 5日(木) 卒業式(卒業生に記念品贈呈)

3月28日(土) 幹事会(ホテルエコーオーサカ)

奈良県支部総会

(ホテルフジタ奈良)

4月 2日(木) 入学式(入学生に記念品贈呈)

4月18日(土) 会則規程改正小委員会

(ホテルエコーオーサカ)

5月 7日(木) 平成9年度会計監査

(校友会事務室)

5月 8日(金) 支部推進部会(校友会事務室)

会則規程改正小委員会

(ホテルエコーオーサカ)

5月 9日(土) 幹事会(ホテルエコーオーサカ)

台湾支部設立打ち合わせ

(校友会事務室)

6月 20日(土) 会則規程改正小委員会

(ホテルエコーオーサカ)

6月20日(土) 友会相談役・顧問・会長・副会長懇談会

(ホテルエコーオーサカ)

6月21日(日) 台湾支部設立準備会

(ホテルグランピア大阪)

6月24日(水) 編集部会(校友会事務室)

6月25日(木) 運営部会(校友会事務室)

6月26日(金) 学園との懇談会(花和清)

会則規程改正小委員会

(ホテルエコーオーサカ)

新潟県支部総会

(ニユースマート新潟)

神戸市支部総会

(グランドピラスト神戸)

7月 4日(土) 会則規程改正小委員会

(ホテルエコーオーサカ)

7月 5日(日) 鳥取県支部総会

(鳥取ワシントンホテル)

愛媛県支部総会

(オオスプラザホテル)

7月11日(土) 幹事会(ホテルエコーオーサカ)

7月11日(土) 台湾支部設立準備会

(ホテルエコーオーサカ)

7月12日(日) 兵庫県西支部総会

(姫路キャッスルホテル)

7月19日(日) 埼玉県支部総会(浦和別所沼会館)

7月25日(土) 台湾支部設立準備会

(台北・来来大酒店)

7月26日(日) 台湾支部設立準備会

(高雄・霖園大酒店)

8月15日(土) 台湾支部設立起人会

(台北・松江甲天下餐廳)

8月29日(土) 幹事会(ホテルエコーオーサカ)

9月 5日(土) 北海道支部総会

(ジャスマックプラザ)

9月 6日(日) 香川県支部総会

(ホテルニューフロンティア)

9月 8日(火) 学園創立70周年記念祝賀ゴルフコンペ

兼第9回校友会親善ゴルフ大会

(京都加茂CC)

9月18日(金) 編集部会(校友会事務室)

9月19日(土) 京都府支部総会(ホテル京阪京都)

編集後記

昭和3年11月、学園創立者である瀬島源三郎先生が大阪鉄道学校を大阪市兎我野町に設立開校されて以来、本年の11月で学園は創立70周年を迎えます。喜びと同時に先人のご努力やご苦労を思わずにはいられません。

校友会も昭和45年(1970)1月に発足し、西暦2000年には30周年を迎えるとしています。校友会を今日まで育めた先人に対して敬意を表し、微力ながら校友会報「凡友」の充実を目指にがんばってまいります。校友のみなさまにはより一層のご指導とご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。

編集部 一同



会員総数47,366名
(平成10年9月末現在)

ほん ゆう	—— 第55号 ——
凡友	大阪産業大学校友会会報
発行日 平成10年10月20日	
発 行 大阪産業大学校友会	
〒574-8530 大東市中垣内 3-1-1	
TEL 0720-75-3040 (直通)	
0720-75-3001 (内線2830)	
FAX 0720-75-0398	
e-mail koyukai@www.osaka-sandai.ac.jp	
http://www.osaka-sandai.ac.jp/koyukai/	
印 刷 関西廣済堂	